

山 行 報 告 書

山 名：黒部五郎岳 (2,840m)		(富山県富山市、岐阜県飛騨市)	
入山日：平成27年8月23日(日)～ 8月25日(火) (2泊3日)		帰宅日：8月25日	
プラン担当者 正：田中正 副：			
参 加 者	L：報：記：田中正		
	男 1名、 女 名、 計1名		
最終打合せ： 月 日 ()			
雨天中止・順延の連絡： 月 日 ()			
時までに(メール)で連絡。			
記 録	集合時間： 午前 時	集合場所：	
8月23日(日)	大宮(前夜)ー立山IC(5:53)ー折立P(7:09~7:43)~太郎平小屋		
	(11:37)(2,330m)(泊)	歩行時間3時間18分	
8月24日(月)	太郎平小屋(3:50)~北ノ俣岳(5:43)~赤木岳(6:27)~黒部五郎		
	岳(8:49~8:56)~黒部五郎岳の肩(9:09~9:21)~赤木岳(
	11:20)~北ノ俣岳(12:08)~太郎平小屋(13:30)(泊)		
		上り4時間40分 下り3時間58分	
8月25日(火)	太郎平小屋(5時54分)~折立(8時17分)ー立山ICー大宮(15:00)		
		歩行時間 2時間15分	
		3日間歩行時間14時間11分	
装 備 食 糧	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ツェルト、携帯、ヘルメット 個人食：1、2日目昼食、行動食、水(夕食時、山岳警備隊員から、黒部五郎に行く人は2ℓ以上の水を持参するようにとの話があった)		
感 想 へ 〜	<p>天気予報は悪くなかったが、台風15号の影響が徐々に始まっていた。折立の駐車場に近づくと、路上に駐車した車が長い列を作っていた。支度をして登山道に入る。展望のきかない樹林帯の登山道は蒸し暑く3日間で一番水分を必要とした。太郎平小屋が見えてくると、正面に青空が広がった。小屋で宿泊手続き後、明日の登山道を確認し、太郎山に登る。その後は部屋に入ってゆっくり過ごした。この日の宿泊者は120人とのこと(150人収容)</p> <p>2日目、3時に起床。4時前にヘッドランプを着けて出発。1時間ほど歩くと東の空が明るくなり始めたが、ガスが発生し周囲は真白になった。上りのほぼ中間、赤木岳の山頂に着くとガスが急に晴れて青空が現れた。目の前には、黒部五郎岳がどっしりと聳えていた。右に、笠ヶ岳が雲海に浮かぶ。もう二つの峰は乗鞍と白山だろうか。左を見ると、薬師岳、赤牛岳、水晶岳が並んでいる。下には、ゆるやかな雲の平高原。ここからは、黒部五郎岳を正面に見ながら一旦下り、いくつかのピークを越えて黒部五郎の肩に到着。ザックをデポして、15分で山頂に。山頂からは、360度の展望だが、槍ヶ岳方面はガスに覆われていた。肩に戻り朝食。予定より1時間30分早く出発したので余裕がある。1時間ほど下ると、5羽の雷鳥が登山道で砂遊びをしていた。中俣乗越で休憩しているいくつかのグループがあった。池塘が点在し、水色に澄んだ空に薬師や赤牛が綺麗だ。小屋には、13時半に着いた。この日も二つのツアー団体が混雑していた。</p>		